徳島新聞　２０２２年（令和４年）１０月８日　土曜日（２０）スポーツ掲載
徳島新聞社提供

川口（生光学園高）２位　少年女子Ａ砲丸

最後の全国”勝負強さ発揮

１投１投に思いを込め、高校最後の全国大会を四国インターハイに続く準優勝で締めくくった。少年女子Ａ砲丸投げの川口（生光学園高）は「楽しんで投げることができた。最後に良い結果を出せてうれしい」と充実感を漂わせた。

四国インターハイで上位を争った選手が集結。冷たい雨が降り続く悪条件下で他の選手の記録が伸び悩む中、１投目で13㍍59の好記録をマークし、３投目終了までトップに立った。しかし、インターハイを制したライバルが４投目で13㍍88、５投目で14㍍58を記録して地力を見せた。

４、５投目は力んで失投となり、迎えた最終６投目。「高校生活の集大成。思い切って投げよう」とサークルに入った。積み重ねてきた練習の成果を信じ、投じた砲丸は13㍍41の地点に。記録アップとはならなかったが「良い投てきができた」と振り返った。

インターハイ後は受験勉強と並行し、週２、３日のペースで練習を行ってきた。毎日投げ込みを続けていた夏場とは違い、13㍍台前半を投げるのがやっとだった。それでも本番で勝負強さを発揮し、準優勝を勝ち取った。

今大会で中学時代から全国上位ランカーとして歩んできた競技生活にいったん区切りをつけ、今後は助産師になる夢に向かってまい進する。「まだ実感はないけど、練習に参加しなくなれば寂しさを感じると思う」と言い、「今日まで頑張ってきて良かった。お世話になった先生や先輩方に本当に感謝している」と柔らかな笑みを浮かべた。

（冨士佳輝）

少年女子Ａ砲丸投げ決勝　13㍍59で２位の川口＝カンセキスタジアムとちぎ

陸上

（カンセキスタジアムとちぎ）

◇予選・徳島県関係

【成年男子】100㍍5組⑦酒井翼（NEXUS AC）11秒01＝落選

【成年女子】100㍍4組⑦前川七海（環太平洋大）12秒60＝落選

【少年男子B】100㍍6組⑥笹山煌紀（鳴門高）11秒35＝落選

【少年女子A】800㍍2組⑤竜田そら（鳴門高）2分15秒38＝落選

【少年女子B】100㍍4組⑦大塚百々花（吉野中）13秒91＝落選

◇決勝

【成年男子】800㍍①薄田健太郎（神奈川・筑波大）1分49秒84⑤やり投げ①ティーン元気（兵庫・ミズノ）80㍍04⑮麻植輝（徳島・鳴門市陸協）62㍍92

【成年女子】砲丸投げ①都築々佳（新潟・新潟アルビレックス）15㍍55⑧三田雅梨香（徳島・四国大）13㍍39

【少年男子A】100㍍①関口裕太（新潟・東京学館新潟高）10秒63▽300㍍障害①紺野稜真（山形・九里学園高）36秒13▽走り幅跳び①中村大空（群馬・東農大一高）7㍍56⑩村田康成（徳島・鳴門高）6㍍45＝追い風参考

【少年女子共通】800㍍①大野璃亜（秋田・秋田工高）1分50秒75

【少年女子A】100㍍①先村若奈（山口・高川学園高）12秒11▽3000㍍①カリバ・カロライン（鹿児島・神村学園高）8分56秒79、戎井那奈（徳島・富岡東高）＝欠場▽300㍍障害①滝野未来（京都・京都橘高）42秒03▽砲丸投げ①奥山琴未（岡山・岡山商大付高）14㍍58⑫川口由真（徳島・生光学園高）13㍍59

【少年女子共通】走り高跳び①森崎優希（東京・明星学園高）1㍍74、佐藤安皇紗（徳島・鳴門高）＝記録なし▽走り幅跳び①近藤いおん（東京・城西高）6㍍07＝追い風参考⑩山崎りりや（徳島・鳴門渦潮高）5㍍75＝追い風参考